

碧南市も国も受け止めて!! 被爆80年広島平和記念式典 こども代表平和への誓い 「One voice. たとえ一つの声でも変化をもたらすことができるはず」



【平和への誓い】

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。
この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。涙とともに止まらない、絶望の声。一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から80年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。

One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができます。大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和7年(2025年)8月6日 こども代表 関口千恵璃さん
佐々木 駿さん

核廃絶への願い大きく

8月6日広島市で平和記念式典が開催されました。5万5千人の参加者の前で、松井一實広島市長は、各国の為政者の中では、こうした現状に強くとられ、自国を守るためには、核兵器の保有もやむを得ない。という考え方が強まりつつあります。とのべ核兵器廃絶に力を尽くすと平和宣言をしました。湯崎英彦広島県知事は、核兵器廃絶という光に向けて這い進む」と広島県として、核兵器廃絶への歩みを決して止めることのないことを誓い、平和へのメッセージとしました。

こども代表の平和の誓い

こども代表の小学生6年生の、関口千恵璃さんと佐々木駿さんが「平和への誓い」を読み上げました。これらの訴えを、行政も市民も受け止め実施できることを進めることが必要です。

広島・長崎に広がる正論

国守って山河なし」広島県知事あいさつで、抑止論を否定。核兵器廃絶を誓うなど「正論」がどうどうとべられていきます。アントニオ・グテレス国連事務総長挨拶(代読)でも、被爆苗木の植樹がされた。しかし今日、核戦争のリスクが高まっています。信頼は失われ、地政学的な分断は深まり、広島と長崎に破壊をもたらした兵器が、再び威嚇の手段として使われています。それでも、希望の兆しはあります」とのべました。

被団協ノーベル平和賞受賞

広島・長崎で原爆被害にあわれた方々を代表する団体である「日本被団協」は、核兵器廃絶に向けた啓発活動の功績により、2024年のノーベル平和賞を受賞しました。核兵器の脅威を根絶するためには、核兵器

そのものをなくさなければなりません。そして被爆者への誓いを守り、その証言と平和へのメッセージを次世代へと引き継いでいきます。過去を記憶するということは、今日、そして未来の平和を守り、築くことなのです」と訴えました。

参政党 核兵器安上りの異常

国会では、核兵器は安上り。アメリカ追随を、などと言いつつ参政党が台頭する異常な状況を広がっています。日々、本質が明らかになっていきますが、正論を大きく広げて行くことが、8月6日、9日、15日をむかえる私たちの決意ではないでしょうか。



こんなのひどすぎる!! **月12万5千円、年3万円の年金引上げで** **非課税→課税**

弱者を泣かさないで

地元で零細事業所で働き、月11万円ほどの年金で細々と暮らしてきました。

市営住宅の安い家賃で暮らすことができ、病気で入院した時もマルフク制度で医療費負担を助けていただきました。

物価高騰に追いつかぬわずかな年金引上げのために12万5千円で課税がされるのはひどすぎます。

それに伴って、介護保険料アップ、マルフク、タクシー券、緊急通報電話基本料金も取り上げられたのでは、実質収入は激減してしまいます。8月からの医療費負担も今週行く検査費用がどれだけ請求されるのかー 余りにもひどすぎます。

80歳 女性

マルフク、タクシー券、緊急通報ダメ
80才の女性からの相談がありました。わずかな「物価高騰対応」の年間3万円（月2,500円）の年金受給額の引上げで、非課税から課税（均等割のみ）となってしまいました。

今まで、マルフク制度（75歳以上、非課税、単身が条件）高齢者タクシー券（700円×24枚）。緊急通報電話の基本料金免除などの、非課税者対象とした市独自の制度からすべて除外されてしまいました。

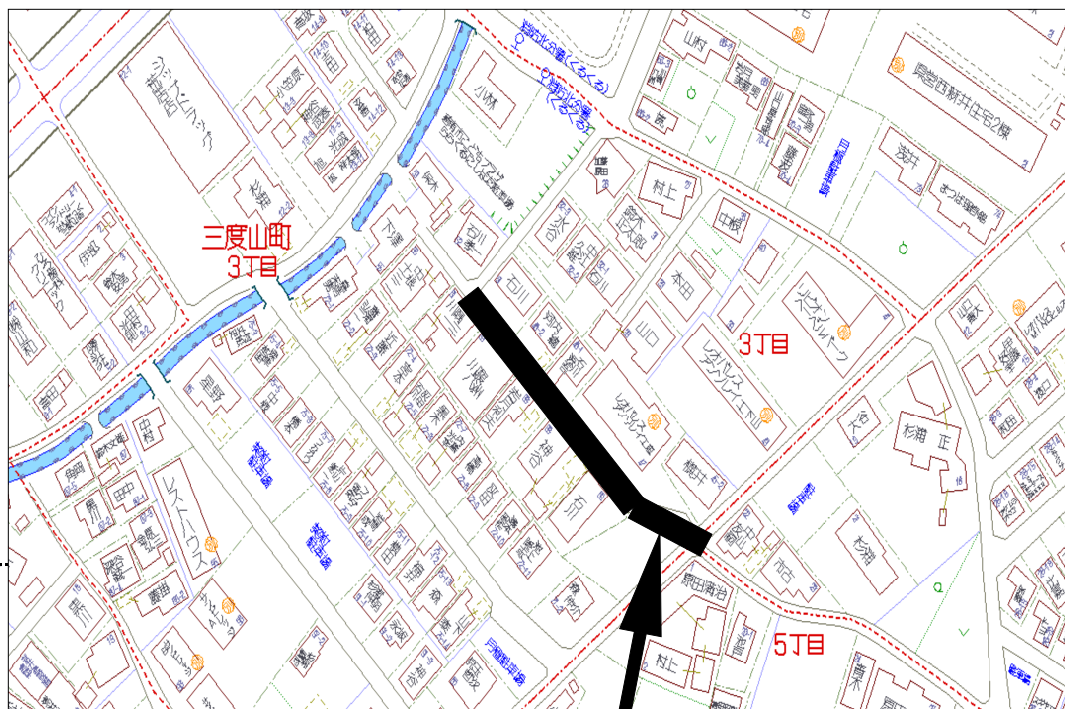
介護保険料は、年4万円引上げ
さらに介護保険料は、第3段階の年額43,680円（月3,640円）が第6段階になり年額80,640円（月6,720円）になりました。36,960も引上げで年3万円の年金引上げでは、足が出てしまいます。

救済制度が必要では
こうした例に対して、市独自の制度や介護保険料で救済措置を設ける必要があるのではと日本共産党は考えます。

大企業金持ちにはたっぷりの優遇措置
大企業には、さまざまな優遇税制を行う一方で、わずかな年金で暮らす国民には「羊が気が付かないうちに毛をむしる」ように負担強化を進めるやり方は許せません。

市道三度山札木2号の側溝改修完了

市道三度山札木2号線は、三度山町3丁目。両側側溝は、私設側溝で、鉄板やフタのないところもありました。みんなで「工事承諾書」に署名し、市の側溝として埋め変えを」と求めてきました。むずかしい工事でしたが、担当職員 노력で、今年7月にピカピカに改修されました。きれいになってうれしい」と山口はるみ議員に、声が寄せられています。



<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。

日本共産党碧南市議団



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
機貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

**大軍拡・大増税許すな
へきなん 19行動**
8月19日（火曜日）
午前11時～12時
ピアゴ碧南東店
碧南市東浦町6-17
（日進小学校南）



両側とも私設側溝が市の側溝として埋め変えられました。

